
九州運輸局メールマガジン 平成 29 年 3 月 2 日 第 352 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の定期発行日は平成 29 年 3 月 16 日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・平成 28 年熊本地震功労者九州運輸局長感謝状贈呈式を開催～48 の観光・運輸事業者の方々に、熊本と福岡の 2 会場で感謝状を贈呈～
- ・平成 28 年度九州運輸局バリアフリー部門関係表彰式を開催～高齢者と障がい者の移動の利便性向上に貢献した 2 社に～
- ・平成 28 年度九州バリアフリー等連絡会議を開催～すべての人が安全・快適に暮らしていける生活環境を実現するために～
- ・「地域公共交通活性化セミナー 2017 in 福岡」を開催～地域が一体となった公共交通の活性化策を紹介～
- ・大規模災害時における円滑な支援物資物流システムの構築のための協議会を開催～第 2 回検討会議を経て 3 月末には今後必要となる取組と課題をとりまとめ～
- ・佐賀市営バスが全国相互利用可能な交通系 IC カードの利用サービスを開始～訪日外国人旅行者ら来訪者の利便性向上にも期待～
- ・「自動車事故防止セミナー 2016」を開催～みんなの力をあわせて安全・安心を～
- ・大学生が物流・海事産業の「今」を見聞する～物流・海事産業を支える人材確保・育成事業～

2 お知らせ

- ・自動車の手続きはお早めに！～3 月は運輸支局等の窓口が大変混雑します～
- ・ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの申込みが始まりました
- ・平成 29 年度「国土交通行政インターネットモニター」募集中～あなたのご意見をお聴かせください～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆平成 28 年熊本地震功労者九州運輸局長感謝状贈呈式を開催

～48 の観光・運輸事業者の方々に、熊本と福岡の 2 会場で感謝状を贈呈～

◎九州運輸局では、平成 28 年熊本地震の発生に際し、被災された方々の宿泊施設への受け入れや困難な状況下での交通網の早期復旧、被災者の輸送、緊急支援物資等の保管・輸送、車両の自治体への無償貸与、復旧活動車両の輸送、復旧活動作業員の輸送、被災者所有車両の整備、災害廃棄物の輸送等により尽力いただいた 48 事業者に対し、熊本市及び福岡市にて感謝状を贈呈しました。

◇内容

[熊本会場]

・ 2月20日（月）、ホテル熊本テルサ（熊本市中央区）にて、九州運輸局長から34事業者に対し感謝状を贈呈。

[福岡会場]

・ 2月21日（火）、福岡合同庁舎新館（福岡市博多区）にて、九州運輸局長から14事業者に対し感謝状を贈呈。

◇九州運輸局からのメッセージ

・ 今回の熊本地震関係功労者に対する感謝状の贈呈は、昨年11月24日の13関係団体の方々が続くものです。それぞれの分野において支援活動にご尽力いただいたことに改めて感謝いたします。

・ 今後も地域や関係者の皆様とともに被災地域の復興に努めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

◇贈呈式の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

（熊本会場はこちらから）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_31.pdf

（福岡会場はこちらから）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_41.pdf

◆平成28年度九州運輸局バリアフリー部門関係表彰式を開催
～高齢者と障がい者の移動の利便性向上に貢献した2社に～

◎九州運輸局では、交通バリアフリー部門における優れた取組を広く普及・奨励するため、所管する交通、観光の分野において顕著な功績があり他の模範となるにふさわしい個人、団体を顕彰しており、本年度は、阪九フェリー株式会社とMHI下関エンジニアリング株式会社の受賞を決定し、2月22日（水）にハイアット・リージェンシー・福岡（福岡市博多区）にて表彰式を開催しました。

◇内容

・九州運輸局長から、阪九フェリー(株)代表取締役社長 小笠原 朗氏と、MHI下関エンジニアリング(株)取締役社長 加藤隆司氏へそれぞれ表彰状を授与。

・その後、両名から受賞事例等の紹介。

[受賞者：阪九フェリー株式会社]

・高度なバリアフリー仕様船を導入し、高齢者・障がい者等の移動の利便性の向上に貢献。

・受賞事例の紹介はこちらのURLからぜひご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_5.pdf

[受賞者：MHI下関エンジニアリング株式会社]

・船舶用のバリアフリーエレベーター及びバリアフリータラップの製造・開発により、高齢者・障がい者等の移動の利便性の向上に貢献。

・受賞事例の紹介はこちらのURLからぜひご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_6.pdf

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・国土交通省では、平成 18 年 2 月施行の「バリアフリー新法」（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の趣旨を踏まえ、公共交通機関、道路、建築物などの総合的かつ一体的なバリアフリー化を進めるとともに、国民のバリアフリーに関する意識啓発にも、より一層努めることとしています。
- ・九州運輸局でも新法施行前の平成 16 年度から九州運輸局長表彰制度を創設し、今年度の表彰式は 13 回目を数えました。
- ・人口減少、超高齢化社会に対応した豊かな生活環境の創出に向け、バリアフリー施設の整備と「心のバリアフリー」の推進に今後も取り組んでいきます。

◇表彰式の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_7.pdf

.....

◆平成 28 年度九州バリアフリー等連絡会議を開催

～すべての人が安全・快適に暮らしていける生活環境を実現するために～

◎九州運輸局及び九州地方整備局では、有識者、障がい者団体、高齢者団体、施設設置管理者、地方自治体を構成員とする連絡会議を、2 月 22 日（水）にハイアット・リージェンシー・福岡（福岡市博多区）にて開催し、相互間の理解と連携を深め今後のバリアフリー化施策のスパイラルアップを図りました。

◇内容

- ・全国バリアフリーネットワーク会議の報告（九州運輸局交通政策部消費者行政・情報課）
- ・九州運輸局におけるバリアフリーの取組（九州運輸局交通政策部消費者行政・情報課）
- ・各団体等におけるバリアフリーの取組（バリアフリーリーダー、施設管理者、障がい者・福祉団体）
- ・意見交換

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・連絡会議には 4 人のバリアフリーリーダー（齊場三十四・佐賀大学名誉教授、下釜豊広・医療法人誠愛会訪問看護ステーションかしまえ主任、池内秀隆・大分大学工学部門准教授、永山昌彦・NPO 法人障害者自立応援センターYAH! DO みやざき理事）のほか、障がい者団体等から 9 人、施設設置管理者からは 7 人、行政機関から 13 人の計 33 人が出席し、活発な発言が相次ぎました。
- ・公共交通施設や鉄道、路線バス、船などのバリアフリー化は着実に進んでおり、今後も財政支援や技術開発支援等による推進が期待されます。
- ・また、バリアフリーについて理解を深め、ボランティアに関する意識を高める「心のバリアフリー」社会の実現に向けたバリアフリー教室や出前講座等の実施にも積極的に取り組んでいます。
- ・今後も多くの関係者と連携を深め、幅広いバリアフリー化への取組を推進していきます。

◇連絡会議の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_81.pdf

.....

◆「地域公共交通活性化セミナー2017 in 福岡」を開催

～地域が一体となった公共交通の活性化策を紹介～

◎九州運輸局では2月20日（月）に、福岡合同庁舎新館（福岡市博多区）にて、自治体や交通事業者ら125人を対象に、それぞれの地域に相応しい持続可能な地域公共交通の再構築を考えるきっかけとなることを期待し、「地域公共交通活性化セミナー2017 in 福岡」を開催しました。

◇内容

[第1部]地域が一体となった公共交通の活性化策

・事例発表「北条鉄道株式会社 再生の取り組み」（北条鉄道(株) 副社長 佐伯武彦氏）

・事例発表「明石 Taco バス 利便性の向上と利用促進策について」（明石市交通政策課主任 阿江良朗氏）

[第2部]制度説明

・「平成29年度予算案について」（国土交通省総合政策局公共交通政策部交通支援課企画調整官 浪越祐介）

・「地域公共交通網形成計画の作成、実施に当たっての留意点」（国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課地域交通係長 手嶋一了）

[質疑応答]

◇九州運輸局からのメッセージ

・国土交通省では、地域公共交通の活性化・再生について、急激な人口減少や少子高齢化に対応する考え方である「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、改正地域公共交通活性化再生法と改正都市再生特別措置法を活用し、関係者が一体となった取組を推進しています。

・九州運輸局でも地域公共交通やまちづくりの課題に対応する人材育成を目的に、先進的な取組等をご紹介し、意識の啓発に留まらず、次なるアクションの喚起を図るため地域公共交通活性化セミナーを開催しています。

・九州の多くの自治体で地域公共交通網形成計画の策定が進んでおり、適切な事業評価や、それに基づく計画の見直しを着実に進めていくことが求められています。

・今回のセミナーは、PDCAサイクルを活用した利用促進や住民と一体となった公共交通の活性化の事例発表があり、参加された自治体や交通事業者をはじめとした関係者の皆様にとって非常に参考となったのではないのでしょうか。

・外的要因を考慮した適切な目標設定が求められており、これに対する利用促進策の実施、目標の達成状況を把握した上での事業評価が重要となっています。利用促進策についても効果検証を行うことでより良い公共交通の実現につながります。このような取組を各地で是非進めて頂きたいと思います。

・今後も、地域の活性化等を通じた持続可能な社会経済の実現に向けての取組を推進していきます。

◇セミナーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_9.pdf

◆大規模災害時における円滑な支援物資物流システムの構築のための協議会を開催

～第2回検討会議を経て3月末には今後必要となる取組と課題をとりまとめ～

◎九州運輸局では、中国、四国運輸局や地方自治体、事業者団体等と連携し昨年9月から実施している大規模災害時の多様な輸送手段を活用した支援物資物流システムの構築に関する協議会を開催し、第2回検討会を行いました。

◇内容

- ・2月13日（月）、ハイアット・リージェンシー・福岡（福岡市博多区）にて、九州大学大学院の星野教授を座長とし、九州、中国、四国の各地方運輸局、各県の危機管理・防災担当部署、物流関係団体、日本貨物鉄道等から選定された37名で構成された委員が出席（前日からの中国地方の大雪などのため5人が欠席）。
- ・昨年9月の第1回検討会と12月の情報伝達訓練を経て、今年度内にとりまとめ予定の報告書（案）について検討。
- ・検討項目は①支援物資物流に関する現状②主要結節点の施設情報リストの作成③多様な輸送モードを活用した支援物資輸送のケーススタディ④情報伝達訓練の実施結果⑤広域的な支援物資物流システムの構築に向けた取組と課題。
- ・「その他」として、（公社）福岡県トラック協会から「緊急救援物資輸送体制整備事業に関する紹介」を発表。

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・今回の様々な調査や検討会、情報伝達訓練を通して、多くの意見・課題・問題点等が挙げられました。それらを十分に踏まえ、現在最終報告書のとりまとめを行っており、後日九州運輸局ホームページに掲載する予定です。
- ・また、協議会では「その他」として、（公社）福岡県トラック協会から「緊急救援物資輸送体制整備事業に関する紹介」もあり、貴重な講演もいただきました。

（第1回協議会と情報伝達訓練の概要を九州運輸局ホームページに掲載しています。こちら URL をクリックするとご覧になれます。）

- ・第1回協議会（検討会議）（平成28年9月27日開催）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/m-butou/m-butou-1.html>
- ・情報伝達訓練（平成28年12月8日実施）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/m-butou/m-butou-2.html>

◇協議会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_10.pdf

.....

◆佐賀市営バスが全国相互利用可能な交通系 IC カードの利用サービスを開始
～訪日外国人旅行者ら来訪者の利便性向上にも期待～

◎佐賀市交通局では2月16日（木）から市営バスでの交通系 IC カード「nimoca（ニモカ）」の利用サービスを開始し、佐賀駅バスセンターにて「スタートセレモニー」を開催しました。

◇内容

- ・主催者挨拶（秀島敏行・佐賀市長）
- ・来賓祝辞（山口祥義・佐賀県知事）
- ・来賓祝辞（佐々木 良・九州運輸局長 ※代読：橋本佐登志・佐賀運輸支局長）
- ・来賓祝辞（福井章司・佐賀市議会議長）

- ・ニモカ概要説明（城代寛昭・株式会社ニモカ代表取締役社長）
- ・テープカット
- ・ニモカでバス乗車

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・全国相互利用可能な交通系 IC カードの導入は、地域利用者だけでなく、訪日外国人旅行者ら来訪者の利便性向上と地域公共交通活性化にも繋がるものです。
- ・平成 25 年 3 月に全国 10 種類の IC カードの相互利用サービスが開始され、1 枚のカードで公共交通機関を利用できる範囲が大幅に拡大しましたが、未導入の地域も存在しています。
- ・政府では平成 27 年 2 月に閣議決定した「交通政策基本計画」に、2020 年度までに全国相互利用可能な交通系 IC カードを全都道府県で使用できるようにする目標を定めており、一層の取組が求められているところです。
- ・身近な交通手段であるバスは、地域には欠かせない存在であり、特に学生や高齢者の移動手段の維持・確保は重要な課題となっています。
- ・今後、交通系 IC カードの利用エリアが拡大することによりバスの利用促進が図られ、地域公共交通の維持・活性化に繋がることを期待しています。

◇スタートセレモニーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_11.pdf

.....

◆「自動車事故防止セミナー2016」を開催
～みんなの力をあわせて安全・安心を～

◎九州運輸局では、2月16日(木)にTKP ガーデンシティ博多新幹線口（福岡市博多区）にて、事業用自動車の事故削減に向けたセミナーを開催しました。セミナーには自動車運送事業関係者 238 人が参加し、好評のうちに終了しました。

◇内容

- ・講演 1：事業用自動車の事故防止対策について（国土交通省自動車局安全政策課 専門官 秋山岳彦）
- ・講演 2：安全運転の考え方と指導・支援法（九州大学名誉教授 松永勝也氏）
- ・講演 3：長く元気に働くために～従業員の健康は事業所と個人で守るもの～（全国健康保険協会福岡支部 上村景子氏、弓削里香氏）

◇九州運輸局からのメッセージ

- ・「事業用自動車総合安全プラン 2009」の目標達成に向け、九州地域事業用自動車安全対策会議では、平成 30 年までの 10 年間で①死者数半減（H20 年 61 人→H30 年 30 人に）②人身事故件数半減（H20 年 6325 件→H30 年 3200 件に）③飲酒運転ゼロ④危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無（H26 年 10 月新規追加）の中期計画を設定し、「安全体質の確立」「飲酒運転の根絶・危険ドラッグ等薬物使用による運転の絶無」「運行の現場を含めた関係者一丸となった行動、構造的な課題への対処」「コンプライアンスの徹底」「IT・新技術の活用」の重点施策も定め、毎年、施策の進捗状況と目標の達成状況の確認、更には新たな施策の検討も行っています。
- ・世界一安全な道路交通を目指し、「事業用自動車総合安全プラン 2009」目標達成に向け、関係者一丸となって取組を推進してきます。

◇セミナーの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_121.pdf

.....

◆大学生が物流・海事産業の「今」を見聞する
～物流・海事産業を支える人材確保・育成事業～

◎福岡運輸支局では、2月15日（水）に就職活動を目前に控えた九州国際大学3年生20人に対し、近隣の物流・海事関係事業者と共催で、「施設見学会」及び「物流講座」を開催しました。

◇内容

・施設見学では、物流・海事の現場を間近に見てもらい、一方、物流講座では、物流の基礎や物流の業務を聞いてもらうことで大学生に、物流業・海事産業を就職の選択肢として捉えてもらうような取組を企画。

[施設見学]

・造船所：三菱重工業(株)下関造船所（下関市）にて、建造・艀装中のフェリー等を間近で見学し、日本造船業を技量の高さを見聞。

・倉庫：門菱港運(株)（倉庫事業者、北九州市門司区）の倉庫にて、倉庫業の果たす役割の説明後、実際の寄託貨物及びその保管・搬入状況を見学。

・コンテナターミナル：太刀浦コンテナターミナル（北九州市門司区）にて、コンテナ荷役も行う門菱港運(株)の担当者からターミナルの運営や輸出入されるコンテナの取り扱い方法の説明。

[物流講座]

・演題：「暮らしを支える物流の仕組みについて」

・講師：(株)ジェネック（総合物流業、北九州市門司区）社員

・内容：物流の機能や流れ、モード比較など物流の基礎に加え、物流企業に入社した際の実際の業務などを説明するとともに就職活動の実体験も紹介。

◇福岡運輸支局からのメッセージ

・多くの産業で人口減少・少子高齢化の影響により「労働力不足」が深刻化する中、物流・海事分野においても労働力確保・育成は喫緊の課題となっています。

・こうした課題の解決には一企業での取組だけでは限界があることから、海事・物流関係企業団体（企業）、教育機関、行政機関の産・学・官が連携し次世代を担う青少年に見学会等を実施してきていますが、今般、就職段階を迎え就職活動を目前に控えた3年生を対象に、見学会と出前講座をミックスした取組を初めて実施しました。

・当日の取組はテレビニュースでも放映されたことから、参加していない学生らの目にも届いたかもしれません。

・この取組により一人でも多くの学生の方たちが、物流・海事関係業界を目指してくれることを切望するとともに、今後も産学官の連携をより強化し、取組を継続していきます。

◇見学会及び出前講座の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_13.pdf

2 お知らせ

◆自動車の手続きはお早めに！

～3月は運輸支局等の窓口が大変混雑します～

自動車の手続きはお済みですか？

引っ越しをして住所が変わったり、所有者等の名義が変わったり、使用をやめたときには、自動車の登録等の手続きが必要です。

正しく登録等が行われていないと、リコールの案内（車の欠陥に関する重要な通知）や税金などのお知らせが届かない、といった支障が生じるおそれがあります。

手続きのお問い合わせ等は、各運輸支局又は検査登録事務所へまでお願いします。

（軽自動車については、管轄の軽自動車検査協会までお問い合わせ願います。）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_352_14.pdf

◆ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの申込み受付中です

アジア初のラグビーワールドカップが2019年に我が国で開催され、全国12カ所で熱い試合が繰り広げられます。

国土交通省ではこれを記念し、本年4月3日（月）から我が国初の特別仕様ナンバープレートを交付します。

申込みは2月13日（月）から開始しています。

詳しくはこちらのURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase-20160213-kanrika.pdf

◆平成29年度「国土交通行政インターネットモニター」募集中

～あなたのご意見をお聴かせください～

国土交通省は、皆さまから広くご意見お聴きして、国土交通行政に反映させることを目的として『国土交通行政インターネットモニター』を募集しています。

多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

・募集者数：全国で1,000名程度

・募集期間：平成29年2月1日（水）～平成29年3月8日（水）

・その他：応募方法・応募資格・モニターのお仕事など詳細は、平成29年度「国土交通行政インターネットモニター」募集要領をご確認ください。↓

<http://www.mlit.go.jp/common/001169642.pdf>

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより //////////////////////////////////////
あす3月3日は「ひなまつり」です。九州各地でもイベントが開催されており、一般社団法人九州観光推進機構のホームページにも情報が掲載されています。週末にでもお出かけされてはいかかでしょうか。
<http://www.welcomekyushu.jp/attaka/hina/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
////////////////////////////////////

-
- 本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
 - 本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
 - 九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
-